



だいぶん寒くなってきましたね。ポーポキは、みなさまもホットカーペットでおなかを暖めることができていることを祈っています。この「ポーポキ通信」を読んで少しでも暖かくなるように！



## ポーポキのホット・ニュース!

・『ポーポキ、友情ってなに色? ポーポキのピース・ブック 2』の準備が本格化! 皆様もポー会にて一緒に検討しませんか?

・北米の本屋にポーポキが登場! ポーポキに新しい友だちをつくるチャンスを与えてくださったこれらの本屋のオーナーやスタッフに感謝!

\* Joseph-Beth Booksellers in Pittsburgh, Pennsylvania, USA

<http://www.josephbeth.com/Default.aspx?StoreId=9&TabIndex=0&TabId=1&p=y>

\* Read for Your Life Book Store for Children in Waterloo, Ontario

48 King St. N, Waterloo, ON, Canada; 1-519-342-0512

・ポーポキは、「やさしいから人なんです展パート 20」世界人権宣言 60 周年記念ポスター展 (ひょうご部落解放・人権研究所) に参加! 展示パネルの貸し出しは可能です。ポスター以外にも絵本 (500 円)、ポストカード (一枚 60 円) もあります。

ぜひご活用ください! 詳しくは:

<http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/sekaijinkensengen/paneru2.html>

ポーポキのお友だちの一人、宇留賀佳代子さんがラジオで紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。<http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。



# 部落解放研究第29回兵庫県集会(2008.11.16)

英文 Rebecca Jennison

和訳 森 恭子

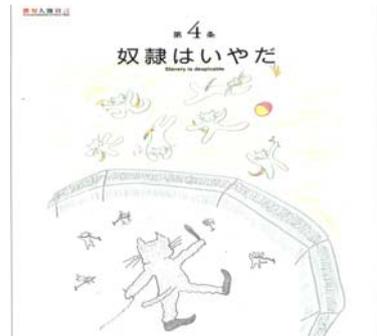
グレタ・クレマー氏へ



「参加型基調講演会とは？」

参加者 500 人？参加型基調講演会？私はロニー先生が、カナダ（先生のお母様であるグレタ・クレマーさんのご葬儀）から帰国した翌日の午前中に部落解放研究所第 29 回兵庫県集会で基調講演を行なうことを知っていました。私は、ロニー先生がどのように講演を乗り切るかとても心配でした。しかし、講演会場に入り、多くの人がいる中でやっと森さんのとなりの席を見つけたとき、ホッとしました。すべては順調に進んでおり、私の他 499 人は既に話しに聞き入っていました。

ロニー先生は、すてきな“ポーポキ人権ポスター”を使いながら、世界人権宣言に包含されている概念と会場にいるすべての人々の生活と行動との関係について、印象深いコメントを織り交ぜながらお話をされていました。私の周囲に座っていた教師や活動家たちは、何十年間も部落差別などのマイノリティーが日本社会に参加することを排除する「壁」——目に見えるものも、目に見えないものも——に対して戦ってきた人たちだと思います。



私はこうした人たちと一緒に、日本社会で安全で平和な場所を見つけようとする人たちが直面する問題について語るロニー先生のお話に耳を傾けていました。

ちょうど、私がパワーポイントに映し出された言葉やアイデアを楽しみ始めたところに、ロニー先生は「私たちの番だ！」と告げました。「平和で安全な世界を創るのに必要なことは何か？」について、周りに座っている人と話し合うようにといわれました。そして、先生はマイクをもって壇上から客席の方におりてきました。私は「またか」と思いました。「ポー質問はいつも 15 分間は私を悩ませるけれども、今日は 3 分しかありません！」。私の隣の男性も少し慌てている様子でした。私は、その男性がこれまで外国人と話をする機会があまりなかったのではないかと心配しつつ、声をかけてみました。ひそひそ話しだった周囲も、次第に大きな声になり、私たちも話し始めました。そして考えや意見を交換し、私たちの結論をまとめました。3 分で！



私はロニー先生の講演やワークショップに参加するたびに、各自の心に訴えながら個人的な関心と世界での様々な問題とをつなげていくやり方に驚かされます（私の場合は女性であり、日本の大学に勤務する外国人です）。今回の話では、私たちは言葉やイメージを通して、ポーポキと一緒にイスラエル、パレスチナ、東ティモールを旅しました。私は、それぞれの場所での平和の色や形を想像しようとしながら話に聞き

入っていました。

基調講演の後、ポーポキのピース・ブックは飛ぶように売れました。私は、前日の出来事や長時間の移動、500 人もの人々を相手にしての講演会をこなした後なので、ロニー先生は席に座るだろうと考えていました。が、違いました。彼女はそこにいました。しかも、たくさんのカラーペンを手を持



っていつでもサインができるように立っていました。多くのご年配の男性がサインのために列をつくり、サインしてもらうのに紫色のような明るくてやわらかい色のペンを選んだ様子に驚いたのは恐らく私だけではないと思います。たくさんの本が売れたことは、きっとポーポキ・ピース・ブック 2 に向かう時期が来たことを意味しているに違いあ

りません。

私はグレタさんにお会いできず、ロニー先生とポーポキ・ピース・プロジェクトのすばらしい活動を紹介できなかったことをとても残念に感じています。しかし、彼女はあのとき会場にいたのではないかと思います。そして、多くの教師や活動家がロニー先生の参加型基調講演会で心を動かされた様子をきっとほほえんで見てくれていただろうと思います。



ポーポキも登場する『世界人権宣言』のポスターが絵本(¥500)にもなり、会場で販売されました！ [詳しくはblrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)へ。



## 「イスラエルーパレスチナ報告 in 神戸ポートワイズメンズクラブ」

森 恭子



神戸ポートワイズメンズクラブの例会で、パレスチナーイスラエル報告をYMCAにて行ないました。ワイズメンズクラブの方10数名とゲスト2名の方々に、さとこさん、岩永さん、森で報告をしてきました。

質問を含めて1時間程度の報告の時間をもらいました。皆様、とても興味深く話を熱心に聞いて下さりました。質問の中では、実際に気候はどのようなのかという質問を受けました。たしかに、気候につ

いては自分自身初めて行くときはどんなに熱いところなのか？と心配していたのを思い出しました。

この報告で、あらためて驚いたことがあります。それは、3ヶ月という時間によって、薄れていく記憶や感情に直面したことです。人によってその度合いはもちろん違うと思いますが、当然「そのとき」のものではありません。いつ



も何かの問題に触れるときに思うのですが、日常の自分とイスラエルーパレスチナの問題をどのようにつなげていくのか。今回の報告は、そのことに向き合える機会となったことが、私にとってはとてもよかったです。

日常に流されず、というのは大変ですが心の片隅にでも想い続けることが関わり続けることの一步かなと思っています。



## 11月の“ポー会”報告

さとこ

11月16日（日曜日）と25日（火曜日）の2回ありました。

16日は部落解放総会でのアレキサンダー先生の講演会とポー本販売の後、灘区薬剤師会事務所で、25日は神戸YMCAで。

通常は、月1回の定例会なのに、どうして2回も？大きなイベントの後にまでなぜ？・・・とここまで分かる人は相当なポー通（通信じゃないよ）。

そうです！！ 待望の？！！ ピース・ブック2！！！！

年内に仕上げて、3月末に発売するべく、制作が開始されました。

今回は『ポーポキ、友情ってなに色？ポーポキのピース・ブック2』。



まずは、友情とはどういうものかを16日に参加したメンバーですりあわせるために「友情」のキーワードで思いつくものを並べてみました。

〈悩みを共感できる〉〈一緒に食べに行く〉  
〈夢・希望について語り合える〉〈本音で話せる相手〉・・・あれ???これって親友のこと? 友情、親友、平和、幸せ・・・。何だかだんだん分からなくなってきちゃった・・・。助けて、ポーポキ!!!

そして25日、新しいメンバーも加わって、侃々諤々・喧々囂々。本当に奥が深い。既にエキサイティングな本になること間違い無しです。どうぞ、皆さんも一緒にエキサイトしませんか?

一緒に活動できるのは友だち、友情があれば意見を述べ合うのも良い? みんなで考えられることは平和? 次回、ポー会で新しいメンバーに、お会いできることを楽しみにしています。

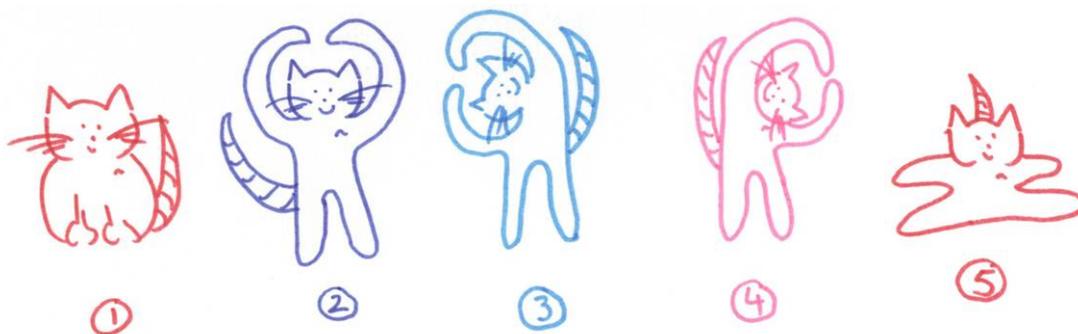


## ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

### Lesson 6

ポガの練習を毎日していますか? 今日もポガでリラックスしましょう!

1. 背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. 両手を頭の上にもる〜く上げて……。お口もまる〜く笑ってね。
3. 同じ形をキープしながら、横へ。尻尾はまっすぐ伸ばすんだよ。
4. さて、今度は反対側へ……。笑いながら口もストレッチ!
5. できましたね。では、デキタ・ポーズを! お疲れ様です!!!



第6回目のポガ・レッスンはこれで終わります。  
おつかれさまです! 毎日、最低3分間を練習しましょう。

# 一緒にいかが？



## ポーポキが登場するイベントなど

- ・ 12. 2 「ポーポキ in パレスチナ」報告会 主催:KOBE映画サークル 時間:18:40～20:30  
会場:あすてつぷ KOBE 2階セミナー室3
  - ・ 12. 10 ロニー・アレキサンダー「セクシュアル・マイノリティ」(ポーポキちゃんもきくと登場しますね。)  
主催:神戸大学学生震災救援隊 時間:17:30-19:30 会場:神戸大学国際文化学部B101教室
  - ・ 12.16(火) ポー会 18:00～ 神戸YMCA 304  
パート1 みんなで『ポーポキのピース・ブック 2』を検討する! 18:00～  
パート2 ポー年会 20:00～
  - ・ 09.01.25 安齋育郎先生&ロニー・アレキサンダー ピーストーク ～世の中どうみる、どうなる、どうする～ 連続講座「現代を読み解き平和をデザインする 主催:平和友の会 (075-801-1990)。  
会場:立命館大学国際平和ミュージアム 2階 参加費:500円
  - ・ 09.02.07～ YMCA 子ども巡回平和絵画展・神戸
- ポーポキのお友だちのイベント
- ・ 第4回 関西クイア映画祭 2009.1.23-1.27 HEP FIVE 8F <http://kansai-qff.org/>



## ポーポキinメディア

- ・ ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
  - ・ やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
  - ・ 「KFAWカレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
  - ・ 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
  - ・ 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
  - ・ “An Interview with Dr. Ronni Alexander.” *The Newpeople*, Pittsburgh’s Peace and Justice Newspaper, Vol.38 No.9, October 2008, p.5
  - ・ “Nuclear Security is Inhuman Security – Dr. Ronni Alexander speaks about Hiroshima and Nagasaki.” *The Newpeople*, Pittsburgh’s Peace and Justice Newspaper, Vol.38 No.9, October 2008, p.4
  - ・ ポーポキ in ピッツバーグ: Remembering Hiroshima/Imagining Peace URL: <http://www.rememberinghiroshima.org/>
  - ・ 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
  - ・ 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。)
  - ・ (社)ひょうご部落解放・人権研究所発行の機関誌『ひょうご部落解放』(2008. 6月(夏)に「人権宣言 60周年」のポーポキ・ポスターの一部も載っていますよ!
- \* ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

# 私にとってのポーポキ

ウッデイン バシール



ポーポキが私にとって身近な存在になったのは、2006年に始動したポーポキ・ピース・プロジェクトという活動だった。その活動の一部として2007年、『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』という本が出版された。その本は、平和について考えるための様々な観点と大胆な方法を模索している。「平和」は、極めて抽象的な概念で、多様な意味を含む「平和」を一つの言葉には決して表せられないと言われている。「平和について、さまざまな角度から考えよう」というのが、『ポーポキ、平和ってなに色？』の大きな目的なのだ。ポーポキは私たちに、「平和の色は何色？」や「平和ってどんな味がするの？」「平和ってどんな感じがするの？」といった風に、それぞれの単純な問いかけによって、私たちの想像力を刺激し、私たちの心に「平和」を描くことができるようになる。確かに、本当に答えるのに困ってしまう様な難しい質問はあるかもしれない。でも、ポーポキの質問は平和についてもっと深く考える道しるべなのである。

私にとってのポーポキは、平和のメッセージを運び、国籍や肌の色、階級、性別に関係なく全ての人々が一緒に囲める食卓をもたらし、メッセンジャーだ。彼は私たちが肯定的意味の平和を理解出来るように、質問やイメージを通して、私たちにメッセージを送ってくる。肯定的意味の平和とは、社会的に排除されている人が一体となることや、参加、社会的地位向上、平等がもたらされることであり、私がポーポキから受け取った大切なメッセージの一つだ。ポーポキは私たち個々の想像が、それぞれの実生活での具体的な経験を通して、どのように平和をもたらすかということを教えてくれる。



バングラデシュのある村で冬の朝、畑を耕す農民は日々、大収穫を夢見て暮らしている。上質の麦が畑から収穫できるように願うことが、彼の日々の平和なのだろう。

型にはまった考え方で平和に取り組むよりも、日々の生活の中で、どれだけ私たちのアイデアや創造力によって平和を築くことができるかということを教えてくれる。最後に、全ての暴力をなくすことによって平和を達成するということは、私にとって何よりも大切なポーポキのメッセージである。

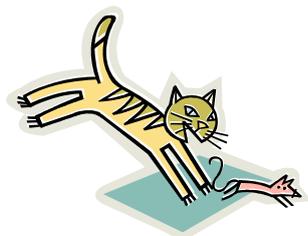
国際協力を学ぶ一人の学生として、私は平和と安全保障の研究にとっても興味がある。沢山の論議や矛盾があるこの分野で、絶対的な解決法を理論化することがいかに難しいかを学んできた。でも、ポーポキの方法で向き合うと、平和についてもう少しシンプルな形で考えられる。ポーポキは、非暴力の手段を通しての人権や社会正義の達成といった根本的なところへと立ち返って、平和を理解するよう私を導いてくれる。



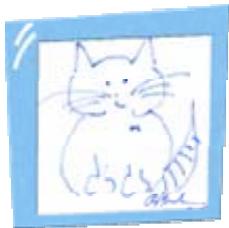
笑顔の子供たち！この子供たちの笑顔は、彼らの幸せか、平和かを表しているかもしれない。しかし、この子供たちの多くが、何時間も危険で過酷な状況で仕事をし、彼らの人権は守られていない。子供の人権を守ることは、平和に不可欠なものかもしれない。

討論会やワークショップ、会議やその他の活動に参加することで、ポーポキは、私が新たな質問を投げかけたり、答えを探そうとしている時に励ましてくれるのだ。これまでに述べた全ての方法を通して、ポーポキは、もっと意味のある方法で平和について考えるよう教えてくれた。ポーポキのファンの一人として、私はポーポキに出会えて良かった。

ありがとう、ポーポキ！



## さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、[popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)にお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



# THANK YOU FROM POPOKI!